

7月・8月・9月の行事日程一覧

7月2日(土)【ぶら探訪41】(要申込)
「柳津を歩く。縄文から古のロマンへ。」

7月22日(金)【分布調査】(要申込)
中世石造物調査33(瀬戸町)

7月23日(土)【特別歴史講演会】
「弥生から古墳時代の出雲と吉備の葬送儀礼」

8月21日(日)【記念講演会】
「備陽史研究第24集発刊記念リレー講演会」

8月21日(日)【懇親会】(要申込)
「暑気払い! in 湯殿(福山城)」

8月28日(日)【バス例会】(要申込)
「杉原盛重の本拠「尾高城」と山陰随一の名城「米子城」を巡る」

9月3日(土)【ぶら探訪42】(要申込)
「城北の寺社を巡る」

9月17日(土)【特別歴史講演会】
「宮内庁書陵部蔵 九条本「備後国宮家系図」について」

9月25日(日)【バス例会】(要申込)(8月20日申込メ切)
「江田島の海軍史跡をめぐる」(キャンセル待ち)

7月9日(土)【近世・近代史部会】「近世福山を読む」
7月16日(土)【中世史部会】「中世を読む」
7月22日(金)【古文書講座】「古文書入門」
7月23日(土)【古代史部会】「古墳講座」
8月6日(土)【近世・近代史部会】「近世福山を読む」
8月26日(金)【古文書講座】「古文書入門」
8月27日(土)【古代史部会】「古墳講座」

※8月の「中世を読む」はお盆にかかるため、お休みします。

事務局便り

会報190号の岡田宏一郎さんの掲載文にいつかの誤りがありました。次回の会報の岡田さんの記事の末尾にて訂正させていただきます。また190号の稲葉泰造さんの掲載文にも抜けがありました。こちらは稲葉さんの続きの記事の末尾にて訂正させていただきます。著者の方と読者の皆様にはご迷惑をおかけしました。謹んでお詫び申し上げます。今回の行事案内は大丈夫!…のハズですが、間違い探しは寛容な心持ちでお願いします……ネ。

2016(平成28)

行事案内 7月号

備陽史探訪の会の目的
備後を中心とした地域の歴史を研究し、愛郷の精神を涵養する。
(会則第1章第2条より)



行事参加の お申込は

「要申込」のある各行事参加の申込は以下のいずれかよりお申込ください。

- ◎公式サイトの参加申込フォーム
「<http://bingo-history.net>」
- ◎事務局へメール
「info@bingo-history.net」
- ◎田口会長宅へ電話
「084-953-6157」

〔備陽史探訪の会事務局〕

〒720-0824
広島県福山市多治米町5-19-8
TEL&FAX 084-953-6157
E-mail info@bingo-history.net

公式サイト
<http://bingo-history.net>

7月22日(金)

分布調査

中世石造物調査 33

第三三回目は瀬戸町を調査します。
事前の所在確認や調査カード作成をお願いします。

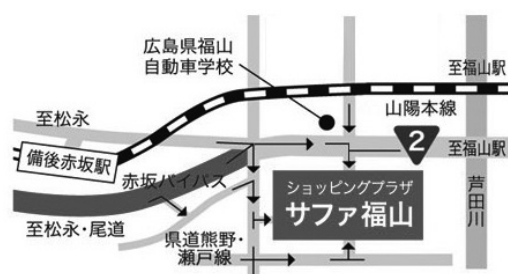
【集 合】 午後1時30分
サファ福山 駐車場
(瀬戸町山北300)

要
申込

【その他】

※雨天の場合は中止し、後日実施。実施可能かどうか、
微妙な天気の際は、田口会長宅へ電話での確認を
お願いします。

※8月30日(火)は本郷町で実施する予定です。



地図はショッピングプラザ SAFA (サファ) 福山の
ホームページより

7月2日(土)

ぶら探訪 41

柳津ぶら歩き♪

～古き街道と縄文・古代～

要
申込

【集 合】 午前9時40分

ホームプラザ ナフコ松永店 駐車場
(柳津町3丁目1番14号)

(鞆鉄バス沼南線利用 /
「松永駅南口」バス停 9:30 発
「二チエー前」下車 170円)

【参加費】 100円(会員) 300円(一般)

【講 師】 河本 正二(近世史部会幹事)

【主な見学地】

潮崎神社、井戸・四つ堂、善立寺、風呂本薬師、
観音寺、橘神社、岩井の井戸、村名由来の地碑、
普賢堂、王子神社、馬取貝塚

【その他】

※飲み物持参、歩きやすい服装・靴で参加。

※解散は正午頃、ナフコ駐車場にて
車利用の場合はナフコ駐車場へ

※交通量は多く、道は狭いので安全に気をつけて歩
いてください。

7月23日(土)

特別歴史講演会

「弥生から古墳時代の 出雲と吉備の 葬送儀礼」

講師 坂本 豊治 氏
(出雲弥生の森博物館主任)

【時 間】 午後2時半～4時

【場 所】 県立ふくやま草戸千軒ミュージアム
地下講堂
(広島県立歴史博物館・福山市西町)

【参加費】 無料

※申込不要。直接会場で受付します。
先着 300名

県立歴史博物館共催

情報BOX

福山市市制施行 100 周年記念事業協賛

福山駅開業 125 周年 企画展

「ひろしま鉄道ヒストリア

—蒸気機関車から新幹線まで—」

期間：平成 28 年 7 月 22 日(金)～9 月 11 日(日)

場所：広島県立歴史博物館

(ふくやま草戸千軒ミュージアム)

入館料：大人 700 円、大高生 520 円、中小生 350 円

【開催記念講演会】

7 月 30 日(土) 14:00～15:30

「ひろしまの鉄道」山本智宏(県博主任学芸員)

8 月 20 日(土) 14:00～15:30

「鉄道の技術史—山陽鉄道開業から山陽新幹線開業まで」

堤一郎(茨城大学特任教授)

※他に「ミニSL乗車体験」「鉄道模型と遊ぼう」など
各種関連行事あり。

【7 月 28 日(木)までミニ展示開催中(常設展内)】

「御出陣御行列役割写帳—『星籠の海』に登場した資料」

映画『星籠の海』の中で謎を解く重要な役割を果たす
古文書。福山藩江戸藩邸向けに主に「見回り時」と「戦争
勃発時」を想定した出陣計画。黒船対策として阿部正弘が
作った有事マニュアルである。(県博所蔵資料)

備後歴史研究会新聞

第8号

会員の菊田さんは『私の履歴書』、

田〇さんは『路傍の語りべ』を出版！

会員の菊田晴中さんが自伝『私の履歴書』を出版されました。寡黙で温厚な印象の菊田さんの数々の武勇伝！そしてひたむきに生きてこられた半生と会社への想い。淡々とした筆致で味わい深い人生が描かれています。探訪の会のどの会員さんもそれぞれに味わい深い人生を積み重ねてこられていると思いますが、こうして文字にして一冊の本になると、また格別なものです。

残念ながら非売品ですが、読む機会があったらぜひ御一読を。備後の地場企業の歩みも郷土の歴史のヒトコマです。百年先も存続していくようエールを送りたいです。

また、会員の田口由実さんが福山リビング新聞に連載中の『路傍の語りべ』（筆名・秋山由実）が同社よ

路傍の語りべ

篠原副会長は

講演&座談会！

皆さん！

県博へGOでしょ

中世石造物調査でお馴染みの篠原副会長。「え？ダレ？」という言っているあなた、失礼です。実はかつ

歯車で挑戦 90周年

明和工作所社長が自伝

福山



「100年先も会社を存続させたい」と語る菊田社長

歯車製造の明和工作所（福山市千田町）の菊田晴中社長（73）が、昨年の創業90周年を機に自伝『私の履歴書』を作った。少量多品種の生産への転換や航空機産業への挑戦など、ものづくりが盛んな福山での歩みをつづる。

同社は1925年、現在の市役所近くで父が「菊田木工工場」として創業。49年に法人化し、歯車造りを始めた。当初はある企業グループの受注が9割を占めたが、50年代の不況で売り上げが激減。多くの取引先を持つ方法に変えた。

菊田社長は66年に入社。81年、社長だった兄が45歳で急逝し、急きよ後を継いだ。納品遅れのクレーム、人材探しなど幾多の苦勞を乗り越え、2012年には航空機部品への参入に向けて品質規格の認証を取得した。

自伝は「生い立ち」から「チャレンジ」まで4章で構成。菊田社

と意欲を見せる。縦21センチ、横15センチの63ページで100部を印刷した。取引先や知人のほか、希望者にも配る。明和工作所 ☎084（955）2122。（榎本直樹）

2016年（平成28年）5月19日（木曜日）中国新聞 福山版の菊田さんの掲載記事です。

て草戸千軒町遺跡調査研究所で実際に発掘に携わっていた、我が古代史部会の重鎮。

このたびは芸備友の会主催で「広島県の遺跡は今」と題し、4名の方達のリレー講演と座談会が8月27日に開催されます。場所は県立歴史博

物館の講堂。（探訪の会の皆様にはお馴染みの場所ですよ☆）

演者は白石太一郎さん（近つ飛鳥博物館館長）、内田実さん（福山市教育委員会）、新谷武夫さん（芸備友の会）、そして我々が篠原副会長！

開会は11時からですが、白石さんと篠原さんの講演は午後1時からです。そして14時55分から4名の座談会があり、16時閉会。1日中は無理でも、午後からだけでも！ぜひご参加ください。詳しくは3頁を参照してください。

の山城
備後 志川
50選5

宮氏が立て籠もった天険の要害
志川滝山城跡

◎山城としての評価 A
◎登り易さ C
◎分り易さ C

所在地 福山市加茂町
比高 約二五〇メートル
築城者 不詳(宮氏か)

城の歴史 戦国時代初頭の明応元年(一四九二)、宮三郎左衛門尉義兼が築き、以後宮氏が居城したと伝わるが、この城を史上高からしめたのは天文二十二年(一五五二)七月二三日の志川滝山合戦である。

も備北から南下した宮氏の一族はこの城に拠り、再び神辺平野に進出する機会を窺った。この情勢を見た陶晴賢は、毛利元就に命じて、この城を攻略させた。当時の記録を読むと、毛利勢は西北の山続から押寄せ、城方の抵抗を打ち破り、わずか一日の合戦で勝敗が決ったようである。

見どころ 四川の谷に突出した山頂を尾根続きに設けた堀切で独立させ、L字状に曲輪群を設けたもので、主曲輪は東西百

刻上で大内義隆が亡ぶと、出雲の尼子晴久が再び備後を下する形勢を示した。特に、翌二一年四月、將軍義輝が晴久を備後など六カ国の守護職に任命すると、備後の国衆の中にも尼子に應ずるものが現れた。中で



志川滝山

の、主曲輪は東西百近い規模を持つている。西北山続を除いて三方は断崖状に落ち込み、簡単に落城したのが不思議なくらいである。詳細に観察すると、各曲輪の加工の度合いは低く、城方の防備が固まらないうちに毛利勢の来攻を受けた可能性が高い。

びんご歴史クイズ 18

① 弥生時代の環濠集落として有名な遺跡は？

- イ) 神谷川遺跡(新市町) ロ) 亀山遺跡(神辺町)
ハ) 青岩遺跡(沼隈町) ニ) 仁吾貝塚(蔵王町)

② 尾道はどの荘園の倉敷地として発展しましたか？

- イ) 長和庄 ロ) 坪生庄
ハ) 太田庄 ニ) 地曳庄

③ 天明一揆の元凶として処罰された人物は？

- イ) 三浦義健 ロ) 遠藤弁蔵
ハ) 小場兵左衛門 ニ) 高滝左仲

④ 明治～昭和時代に

「郡誌」が作られなかった郡は？

- イ) 比婆郡 ロ) 甲奴郡
ハ) 双三郡 ニ) 深安郡

⑤ 次の内、水野勝俊に殉死した近臣は誰？

- イ) 小場兵左衛門 ロ) 馬場長右衛門
ハ) 上田半左衛門 ニ) 近藤弥之介

びんご歴史クイズ全問正解者に「ぶら探訪参加券」をプレゼント！6枚綴りになっており、しかも、会員・一般共通という太っ腹企画！

(但し、換金、転売はご容赦を！)

全問正解者が多い場合は抽選とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

○応募申込は

事務局宛てにハガキで応募、もしくはインターネットの公式サイトのお応募フォームから

※電話での受付はありません。

○応募締め切りは

7月20日(水)まで

8 月 28 日(日)

バス例会

要
申込

杉原盛重の本拠 尾高城 と 山陰随一の名城 米子城を巡る ～夏の日本海に歴史の潮風を感じる～

西伯耆を代表する城郭である「尾高城」と「米子城」を中心に城郭の変遷と備後地方との関係を解き明かします。

大山と日本海に抱かれた鳥取県西部（西伯耆）は古代から近世まで数多くの史跡が残っています。

今回は、1 日では到底廻りきれない魅力的な歴史の足跡の中から涙をのんでピックアップした2つの城を中心にして、中世から近世へと発展する築城の歴史を探究するとともに、古代遺跡から近代までの見どころをダイジェストでご案内します。

【集 合】 午前8時

J R 福山駅北口観光バス乗り場

【参加費】 4,000 円（会員） 4,500 円（一般）

【募集数】 47 名

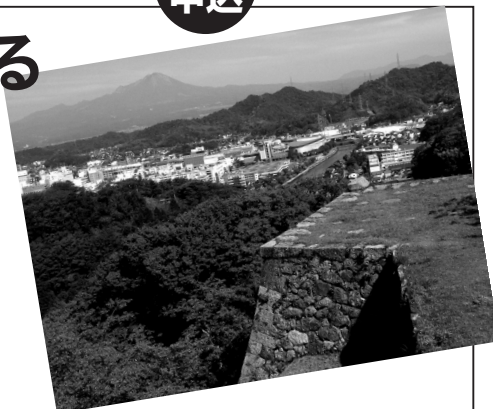
【講 師】 田中 伸治

【その他】

※帰着は福山駅北口に午後6時頃の予定。

※飲み物・弁当持参。

※歩きやすい服装・靴で参加。



【主な見学地】

①尾高城（米子市尾高）

杉原盛重の居城。山中幸盛（鹿介）が厠の穴から脱走した伝承で有名。

②妻木晩田遺跡（西伯郡大山町・昼食会場）

弥生時代の住居跡や四隅突出墳丘墓が発掘・整備されている。

③淀江台場跡（米子市淀江町今津）

鳥取藩が幕末期に領内8か所に築いた台場の1つ。

④米子城（米子市久米町）

山陰随一の名城と言われた平山城。壮麗な石垣が残る。

9 月 17 日(土)

特別歴史講演会

宮内庁書陵部蔵 九条本「備後国宮家系図」 について

講師 田口 義之 氏
(備陽史探訪の会 会長)

備後宮氏は、室町時代「備後殿」と呼ばれ、全盛を極めながらも、戦国時代、毛利氏と戦って敗北、滅亡したため、家伝の文書記録を失い、幻の名族として、その真の姿は杳として知れない。今回、宮内庁書陵部に16世紀に作成されたと推定される系図が所蔵されていることが判明し、会長がその内容を検討する。

さて、その真否の程は……。

備後戦国史に関心のある方、必聴の講演である。

県立歴史博物館共催

幻の名族「宮氏」の素性が
明らかに！？
その真偽は！？？
郷土史に今、新しい光が射す。

【時 間】 午後2時～3時半

【場 所】 県立ふくやま草戸千軒ミュージアム
地下講堂

(広島県立歴史博物館・福山市西町)

【参加費】 無料

※申込不要。直接会場で受付します。
先着 300 名

9 月 3 日(土)

ぶら探訪 42

要
申込

城北の寺社を巡る

【集 合】 午前 9 時

胡町吉津橋南詰惣門跡
(胡町 7-11 あたり)

【参加費】 100 円 (会員) 300 円 (一般)

【講 師】 根岸 尚克 (近世史部会幹事)

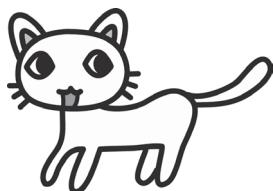
【主な見学地】

胎蔵寺、渡辺神社、妙政寺墓地、木之庄墓地、観音寺、
良神社、福山八幡宮、聡敏神社、定福寺、松林寺

【その他】

※飲み物持参、歩きやすい服装・靴で参加。

※解散は 12 時頃、長者町口にて
(集合場所と解散場所が離れていますので、
ご注意ください)



城北の寺社は大規模なものが多く、空襲からも逃れ、木造で往時の姿をよく留めています。勝成の正室や側室 (二代勝俊の母)、そして勝俊や殉死した近臣ならびに城代家老上田玄蕃などの墓石を訪ねます。



9 月 25 日(日)

バス例会

キャンセル待ち 昼食付

要
申込

江田島の海軍史跡をめぐる

時間厳守

当日は船便の関係で遅滞は厳禁です。必ず集合時間までにバス乗り場へ待機しておいてください。また、予定時間にかかわらず全員が集まった時点で出発します。よろしくお願いします。

旧海軍兵学校見学は予約制 (名簿提出) のため、申込は 8 月 20 日で締め切らせていただきます。

【主な見学地】

①巡洋艦大淀慰霊碑

巡洋艦大淀の戦没者慰霊碑。

②軍艦利根資料館

重巡洋艦「利根」に関する資料が見れる小さな博物館。利根に配備されていた装置類や、軍艦関係の書籍にも載っていないような利根の戦跡の資料、利根の大きな模型など。

③海上自衛隊第一術科学校 (旧海軍兵学校)

石造り・レンガ造りの旧海軍兵学校当時の建物が多く残っており、現在は海上自衛隊が使用している。教育参考館には、特攻隊員の遺書など旧海軍関係の資料約 1,000 点が展示されている。 (「坂の上の雲」 のロケ地でもある)

④品覚寺

兵学校の多くの生徒がここを訪れ、記名帳に落書署名した「津久茂帳」が寺宝として残る。

【集 合】 午前 7 時 15 分

J R 福山駅北口観光バス乗り場

【参加費】 5,000 円 (会員) 5,500 円 (一般)
(昼食付)

【募集数】 44 名

【講 師】 大場 和弘

【その他】

※昼食は旧海軍兵学校内のレストラン江田島にて「海軍カレーセット」を食べます。

※帰着は福山駅北口に午後 7 時半頃の予定。

※歩きやすい服装・靴で。飲み物持参。

お知らせ＆お願い

備陽史探訪の会の各部会の講座について、各講座につき4月より資料代として100円を戴くことになりました。よろしくご了承・ご協力ください。

古代史部会	中世史部会	近世・近代史部会
「古墳講座」(第370回) ◆7月23日(第4土) 午後7時～ ◆福山市民参画センター ◆講師 網本善光(部会長) 【内容】「指定文化財が語る備後の歴史(4) 横穴式石室の登場～長波古墳・山の神古墳～」 	「中世を読む」(第343回) ◆7月16日(第3土) 午後2時～ ◆福山市民参画センター ◆講師 佐藤貴洋 【内容】「備中兵乱」 ※8月はお休みします。 	「近世福山を読む」(第41回) ◆7月9日(第2土) 午前9時45分～ ◆福山市民参画センター 《第1部》 ◆講師 河本正二 ◆内容 「今津宿本陣に残る小さな巻物「殿様御召提重献立」について」 添書き「有馬富之丞様御下りの時」とは? 本陣に残る関札との関係は? 《第2部》 ◆福山市民参画センター ◆講師 高木康彦(部会長) ◆内容 「水野家臣団—近世史料に伝わる家臣の逸話—」 第一回目は開拓時代の家老上田玄蕃や中山将監、総奉行小場兵左衛門や神谷治部などを取り上げます。 ◆8月6日(第2土) 午前9時45分～ ◆福山市民参画センター ◆講師 田口義之(会長) ◆内容は未定
古文書講座 「古文書入門」 初回のみ 要 申込  ◆7月22日(第4金) 午後7時～ ◆場所 福山市民参画センター 【内容】「河本家文書」 ◆8月26日(第4金) 午後7時～ ◆場所 福山市民参画センター 【内容】「河本家文書」 ※テキスト代別途。		

会報 191 号原稿募集!

8月発行の会報 191 号の原稿を募集しています。備後郷土史に関するものは何でも差支えなし。論文・論考・資料提供・絵・写真・俳句・随筆・昔語り・質問、他、例会報告など会員の皆様の投稿をお待ちしております。7月16日(土)までに事務局編集部まで。規定は16文字×120行。(論文・論考は16文字×244行程度)

備陽史探訪の会

【事務局】

〒720-0824 広島県福山市多治米町5-19-8

TEL&FAX 084-953-6157

E-mail info@bingo-history.net

公式サイト

<http://bingo-history.net>